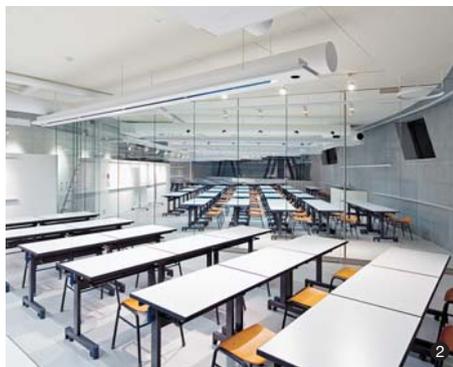




1

菱形の形状とリズムカルに配置された平行四辺形の窓が斬新な新アトリエ棟。3階建ての校舎は1階がデッサン室と市民工房。市民工房は地域に開放され、デザインとアートの発信基地として様々な公開講座が開かれる。2・3階は、3つのアトリエ・ユニットを屈曲して連結したウィングをスキップフロアとし、吹抜けを介して向かい合わせに配置している。このアトリエは1・2年生専用で、ガラスのパーティションにより一体利用や分割利用が可能となっている。構造は、経済性の高いRC造をベースに、ランダム開口のある連結外壁+独立する内壁+フラットスラブから成り、固有の空間性を試みている。



2



3



4

新潟県

長岡造形大学 第3アトリエ棟

NAGAOKA INSTITUTE OF DESIGN

設計: (株)日本設計



1 2 3 4 アトリエ/テーブル:CTN2(1人用特注品)、多目的イス

キャスター付フラッピングテーブルを採用して、多彩な空間創出に対応。作業時の安定性を確保するため、設置時はキャスターが浮上して4ヶ所のアジャスター付脚端が確実にテーブルを固定する独自の「シンクロトップシステム」を搭載。1人用(W900・D600mm)は特注サイズで、機動性も考慮されている。